

大山 山行報告

【日 程】 2016年10月9日～10日

【地域・山域】 中国山地・山陰

【形 態】 無雪期登山

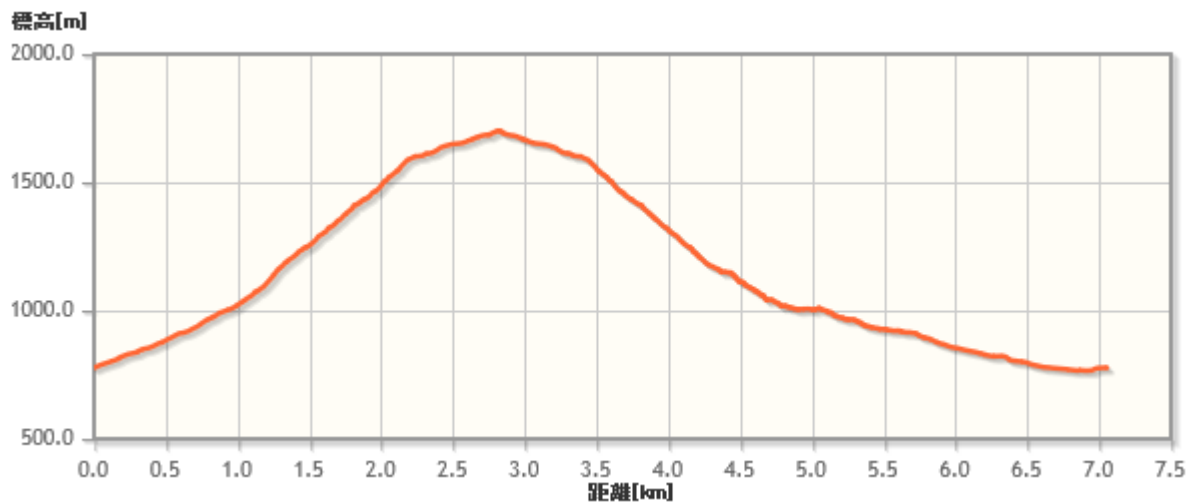
【メンバー】 伊田 Y尾 M本 O太 Y村(N) Y村(Y)

【記 録】 Y村(Y)

■ルート／タイム

10/09(日) 木津(11:00)～守口(13:00)～《近畿・中国・米子》～南光河原駐車場(17:30)

10/10(月) 南光河原駐車場(6:05) …夏山登山道入口(6:10) …三合目(6:50) …行者谷別れ(7:20) …六合目(7:40) …八合目(8:20) …弥山頂上(8:45) …頂上小屋(8:55/9:30) …六合目(10:10/10:20) …行者谷別れ(10:30) …元谷入口(11:00) …大神山神社(11:20) …大山寺(11:40) …駐車場(11:50)



■報告

当初は南アルプスの鳳凰三山縦走の予定であったが、天候不順につき中止となり、急遽代替で大山となった。

・10月9日(日) 曇り後雨

昼前に奈良組が木津を出発し、大阪の守口にて車を1台にしてから6名で米子へ向かう。山陰に近づくとつれポツポツと雨が降ってきた。夕食はラーメンを食べてから駐車場へ着き、テント設営。就寝してからも雨が降り続いていたようだが、幸いな事に朝には止んでいた。

・10月10日(月) 晴れ時々曇り

早朝5時に起床、テントを撤収し6時に夏山登山口へと歩き出す。気温は低く肌寒いが登山にはちょうどいい季節となってきた。駐車場から車道を5分ほど歩くと「夏山登山道入口」の標識が見えた。ここより木の階段がずっと続く。ブナやミズナラに覆われ雰囲気の良い山道である。



五合目を過ぎてすぐに行者谷別れの分岐に差し掛かる。下山はここを元谷に向かって行者谷コースで降りることになる。





しばらく登った先の六合目避難小屋で多めの休憩を取る。
気温も低く風もある。各自防寒対策で上着を羽織り、頂上を目指す。
時折ガスが切れると青空が広がり、風さえなければ好天候である。
この辺りからブナもなくなり、赤く色ついたナナカマドや紫の実を付けたサワフタギ等の低木が多くなってきた。高度が変わる度に変化があり面白い。



そして、8合目を過ぎると登山道は階段ではなく木道に、頂上一帯は一面ハイマツのようなダイセンキョロボクが広がり雰囲気は一変する。
後ろを振り返ると町や弓ヶ浜の美しい海岸線がよく見え絶景である。



無事山頂(1,709m)登頂！

残念ながら山頂ではガスがまた深くなり眺望今一つである。

記念撮影を早々に済ませ避難小屋に駆け込む。

30分の休憩で、各自早めの昼食や行動食を摂ることにする。

しかし、避難小屋だというのに、カップ麺やジュース等の売店があるのには驚いた。



さて、後は下るだけである。

下りはガスも切れ青空が広がり気温も上昇してきているのか、

すれ違う登山者は皆汗でびしょりで暑そうだ。早朝に出発してよかった！

しかし、次から次へとひっきりなしの登山者の多さに驚くばかり。

下りは分岐の行者谷別れから行者谷コースで、元谷に降りる。

人も疎らになり、ようやく静かな山登りでほっとする。



谷から望む大山北壁は、荒々しい岩肌が剥き出しの雄々しい山容で圧巻である。
山道はここで終わり、大神山神社と大山寺の石畳の参道を通して無事駐車場に戻った。

今回はリーダーI田氏の臨機応変な対応に感謝です。
山行が中止にならずに大山でよかった。
鳳凰三山は来年にリベンジお願いします。